

テーマ	中間試験 (I) : 3 級受験者用						
学籍番号							氏名

1. 次の取引に基づいて、答案用紙の残高試算表を完成しなさい。なお、平成 X9 年 10 月 26 日現在の残高試算表は答案用紙の 10 月 26 日現在欄に示す通りである。答案用紙には必要な勘定科目を追加すること。また、売上と仕入はすべて掛で行っている。

〔10 月 27 日から 10 月 31 日までの取引〕

27 日 仕 入：八尾商店 ¥4,000 売 上：花岡商店 ¥ 1,200

阪南商店へ買掛金 ¥2,400 の支払いのため、同店受け取り、瓢箪山商店宛（引受済み）の為替手形を振り出した。楽音寺商店より売掛金 ¥6,800 が当座預金口座に振り込まれた。

売買目的として北本町商工（株）の株式を ¥3,600 で購入し、代金は購入手数料 ¥100 を含めて小切手で支払った。貸付金のうち ¥2,000 を、利息 ¥100 を含めて小切手で回収し、ただちに当座預金に預け入れた。

28 日 仕 入：阪南商店 ¥3,000 売 上：楽音寺商店 ¥4,500

瓢箪山商店の売掛金 ¥3,000 を同店振出、当店宛の約束手形で回収した。

服部川商店の買掛金 ¥2,000 を、小切手を振り出して支払った。

花岡商店へ売り上げた商品について ¥100 の値引をした（掛け代金と相殺）

取得価額 ¥3,000、既償却額 ¥700 の備品を ¥1,500 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

29 日 仕 入：服部川商店 ¥3,600 売 上：瓢箪山商店 ¥6,700

八尾商店の買掛金 ¥1,000 を同店宛の約束手形を振り出して支払った。

阪南商店の買掛金 ¥2,000 を支払うため、瓢箪山商店より裏書譲渡されていた山本商店振出、瓢箪山商店宛の約束手形を裏書譲渡した。

取立を依頼していた花岡商店振出、当店宛の約束手形 ¥1,200 について、取立が済み、当座預金に預け入れた旨の通知を受けた。

借入金のうち ¥4,000 を、利息 ¥200 を含めて小切手を振り出して返済した。

30 日 仕 入：阪南商店 ¥3,000、八尾商店 ¥2,000

売 上：花岡商店 ¥1,200、瓢箪山商店 ¥1,500

服部川商店より仕入れた商品のうち ¥600 を返品した（掛け代金と相殺）。

今月分の家賃 ¥2,400 を、小切手を振り出して支払った。

八尾商店宛に振り出した約束手形 ¥5,000 について、支払期日に当座預金口座から引き落とされた。

給料総額 ¥6,600 のうち所得税の源泉徴収分 ¥800 を差し引き、手取金を、小切手を振り出して支払った。

31 日 仕入先阪南商店より同店振出、経法商店受取、当店宛の為替手形 ¥1,700 の支払いの依頼を引き受けた。

瓢箪山商店に対する売掛金の回収として、当店振出、八尾商店宛の約束手形 ¥1,000 を裏書譲渡された。

瓢箪山商店振出、当店宛の約束手形 ¥3,000 を取引銀行で割り引き、手取金 ¥2,900 を当座預金とした。

楽音寺商店に対する売掛金 ¥1,000 の回収として、以前本店が振り出した小切手で受け取った。

小口現金係より次のような当月分の支払報告を受け、ただちに小切手を振り出して補給した。なお、仕訳にあたっては小口現金勘定を用いない方法による。

切手・ハガキ代：¥300、コピー用紙代：¥500、バス回数券代：¥200

テーマ	中間試験 (I) : 3 級受験者用							
学籍番号							氏名	

2. 次の期末修正事項にもとづいて、答案用紙の精算表を完成しなさい。ただし、会計期間は平成 X9 年 1 月 1 日から平成 X9 年 12 月 31 日までの 1 年である。

1. 当期に販売した商品（原価 ¥2,160、売価 ¥2,700）が返品されていたが未記帳であった。なお、この代金は売掛金と相殺する。
2. 当座預金のうち ¥12,000 については、かねて取立てを取引銀行に依頼しておいた八尾商店振出の約束手形の入金分 ¥18,000 の処理を、誤って少なく処理していることが判明した。
3. 支払期日の到来した公社債の利札 ¥1,080 と配当金額収証 ¥900 が未処理であった。
4. 受取手形および売掛金の期末残高に対して 3% の貸倒れを見積る。引当金の設定は差額補充法による。
5. 売買目的有価証券の時価は ¥54,900 である。時価により評価替えをする。
6. 期末商品の棚卸高は ¥23,400 である。なお、上記 1 で返品された商品の金額はこの期末商品棚卸高に含まれていない。また、売上原価は「仕入」の行で計算すること。
7. 建物については定額法により減価償却を行う。なお、建物のうち ¥168,000 については、平成 X9 年 10 月 1 日に取得したもので、この分の減価償却費については月割計算で行う。
耐用年数：30 年、残存価額：取得原価の 10%
8. 保険料は平成 X9 年 4 月 1 日に向こう 1 年分を支払ったものである。
9. 給料の未払額は ¥2,160 である。
10. 受取家賃の前受分が ¥9,200 ある。
11. 受取利息 ¥1,260 を見越し計上する。
12. 消耗品の期末未消費高は ¥720 ある。

テーマ	中間試験 (I) : 3 級受験者用						
学籍番号							氏名

残高試算表
平成 X9 年 10 月 31 日

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
10/31 現在	10/26 現在		10/26 現在	10/31 現在
	1,000	小 口 現 金		
	64,100	当 座 預 金		
	7,400	受 取 手 形		
	15,760	売 掛 金		
	5,080	売買目的有価証券		
	17,000	繰 越 商 品		
	4,000	貸 付 金		
	12,500	備 品		
		支 払 手 形	10,300	
		買 掛 金	7,000	
		預 り 金	700	
		借 入 金	20,000	
		貸 倒 引 当 金	1,800	
		減価償却累計額	1,080	
		資 本 金	80,000	
		売 上	117,240	
		受 取 利 息	300	
	88,860	仕 入		
	17,480	給 料		
	2,400	支 払 家 賃		
	840	消 耗 品 費		
	760	旅 費 交 通 費		
	460	通 信 費		
	400	支 払 手 数 料		
	380	支 払 利 息		
		()		
		()		
	238,420		238,420	

テーマ	中間試験（I）：3級受験者用							
学籍番号								氏名

勘定科目	残高試算表		修正（整理）記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	108,000							
当座預金	90,000							
受取手形	90,000							
売掛金	74,700							
売買目的有価証券	54,000							
繰越商品	27,000							
消耗品	7,200							
貸付金	126,000							
建物	540,000							
土地	720,000							
支払手形		72,000						
買掛金		92,700						
貸倒引当金		3,060						
減価償却累計額		195,300						
資本金		1,287,900						
売上		1,188,000						
受取家賃		64,400						
受取利息		1,260						
仕入	817,200							
給料	159,440							
水道光熱費	80,280							
保険料	10,800							
	2,904,620	2,904,620						
有価証券利息								
受取配当金								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
有価証券評価()								
() 保険料								
() 給料								
() 家賃								
() 利息								
()								
当期純()								